

事務事業 No./名称	■サービス部門 こども-04 子ども会館・子どもの家管理運営事業 □支援部門						
主管課	こどもみらい課	関連課	青少年課				
分野名	青少年育成						
目標 (目標値)	市内各小学校区にそれぞれ1箇所ずつ子ども会館・子どもの家を整備します。(子ども会館・子どもの家各16箇所)						
人口等のデータ	データ区分	22年度	21年度	20年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,161人	176,669人	176,484人			
	世帯数	78,812世帯	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源状況	事業の対象者数						
	決算値(千円)	30,372	1,799	213,561			
	(国・県)	7,250		28,594			
	(負担金等)			39,693			
	(一般財源)	23,122		145,274			
	人員配置数	0.7	0.7	2.5			
	人件費(千円)	6,492	69,796	23,835			
事務事業運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	36,864	8,595	237,396			
	市民1人当りの経費(円)	208	49	1,345			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
		目標値					
		実績値					

◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。		
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。		
小事業名	H22決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性 A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止		
子ども会館・子どもの家の管理運営事業	30,372千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E
	事業の概要	子ども会館・子どもの家の整備				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

中事業の評価結果

事業診断(課長評価)				
H22年度の課題	第一小学校区子ども会館・子どもの家新築整備計画の推進。既存学校施設を活用しての子どもの家整備。			
課題解決のための取組	第一小学校区子ども会館・子どもの家新築工事に係る測量・地質調査の実施。深沢小学校空教室を活用した子どもの家設置工事の実施。			
未解決の課題	第一小学校区子ども会館・子どもの家新築整備計画に係る代替駐車場の確保、前倒しの開設に向けての課題解決及び校庭の利用について。			
今後の方針	第一小学校区子ども会館・子どもの家新築整備計画の推進。耐震診断及び耐震化について。			
今後の方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止	⇒ B	※ □事業完了	課長名 こどもみらい課長 相澤 達彦

